

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和3年5月17日（月）
9時56分～11時53分
全 員 協 議 会 室

- 【出席者】三浦委員長、西川副委員長、
村武委員、川上委員、小川委員、野藤委員、笹田委員、芦谷委員、
佐々木委員、澁谷委員
- 【事務局】近重係長、小寺書記
-

議題

- 1 はまだ議会だよりminiについて…………… 資料1
 - (1) 第5号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 2 地域協議会との意見交換会について…………… 資料2
 - (1) 班別状況報告
 - (2) 各種準備
 - (3) その他

- 3 はまだ市民一日議会について…………… 資料3
 - (1) 役割分担等確認
 - (2) その他

- 4 その他
 - (1) 読者アンケート振り分け先案について
 - (2) 議会報告会について

【次回委員会開催予定日】 令和3年6月11日（金） 13：30～ 全員協議会室

【議事の経過】

[9時 56分 開議]

三浦委員長 | ただいまから議会広報広聴委員会を始める。出席委員は9名で定足数に達している。
では議題にのっとって進めていく。今日はその他含めて4項目用意している。

1. はまだ議会だよりminiについて

(1) 第5号掲載内容及び原稿担当

三浦委員長 | 次号の掲載内容について協議していきたい。書記から説明をお願いする。

小寺書記 | (以下、資料をもとに説明)

三浦委員長 | 小寺書記から説明があったとおりに提案させていただきたいが、ご意見を聞かせてほしい。4月臨時会議における審議となっているが、水道事業について今度の臨時会議も含めて。皆いかがだろうか。

芦谷委員 | これではよいと思うが、前に提案したことがあるのだがはまだ議会だよりが年4回なので、その間が出ないのももう少し議会の動きがわかったほうがよい。今回は中国市議会議長会があった。議会として正式に発信したほうが。トピックスも大事だが議会の本領も押さえるほうがよい。紙面が足らなければ拡充しながら、議会が何をしているかを周知したほうがよい。

小寺書記 | 4月20日に中国市議会議長会定期総会が浜田で開催され、中国圏内54市の正副議長が来られた。議長日誌でそれについて書くこともできるかと思ったのだが、いかがだろうか。

三浦委員長 | 例えば議長日誌にそのことを書かせていただき、議員のつぶやきのほうに聖火リレーについて少し触れるのもよいかと思ったのだが、いかがだろうか。

澁谷委員 | 聖火リレーは地元新聞が大きく扱っていた。議員のつぶやきは副議長が中国市議会議長会について書けばよい。

芦谷委員 | 議員になって思うのだが正副議長団の持つ情報と、我々議員とに乖離があり、議長団とすればもっと前向きな情報提供をしていただき、市民に必要なものを提供するスタンスを持っていただきたい。

佐々木委員 | 中国市議会議長会、昭和35年に浜田で開催されて以来、61年ぶり

の開催だった。浜田市議会としては極めて大きなイベントだったと思うし、膨大な準備作業があったのは間違いない。ただ、これが議会全体となると何しているかわからないという感覚にもなるし、これを皆に言ったところでそれでどうなのかという話になる。これはあくまで議長が中心になってさばくべき案件。議長日誌で扱えばよいと自分も思っていたのだが、そこで議長の思いを書いてもらうのが一番よい。大変苦勞したいろいろな悩んだのは事実なので、それなりの思いが入った会ではあった。対外的には61年ぶりの浜田市の開催ということで、大きなイベントだったことは間違いない。

これは僕の思いより当然議長の思いのほうが大きいと思うので、議長に書いてもらえればよい。

澁谷委員

職員もかなり大変だったようだ。誰も議会だよりminiを見ていないのだから、何でも書けばよいのでは。

三浦委員長

ではメインは水道事業のことを書き、議長日誌には議長会があったことを淡々と報告し、議員のつぶやきに議長のコメントをいただく形にしようか。

(「はい」という声あり)

では次号はそのように進めたい。副委員長は何かあるか。

西川副委員長

議長日誌に中国市議会議長会のことを、議員のつぶやきには。

三浦委員長

それに対する議長のコメントを書く。対象事項は被るがスペース的に日誌内に議長の感想はおさまらないかということで提案した。

西川副委員長

一つにしたらどうか。

三浦委員長

それでもよいだろうか。

西川副委員長

それか、上の水道事業が広いので、ここにスペースをつくるか。

川上委員

つぶやきは、このような苦勞があったと書いてもよい。ただ、上の水道事業についてはここまで大きく書くか書かないかは別として、下二つはそういう対象でよいと思う。

小川委員

恒例では2年である議長任期を4年された理由の一つがこれだったので、それに対する意気込みもあったろうし、やり切った感想はぜひ載せるべきである。

三浦委員長

そうしたら議長日誌と議員のつぶやきのところのスペースをどう区切るかは少し議長と相談させていただき、区切ったほうがよければこのまま、一つの項目としてまとめたほうが書きやすいようならまとめさせていただく形でお願いしようと思う。それでよいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのようにさせていただく。

三浦委員長 小寺書記。

小寺書記 水道事業の記事をどなたが書かれるか。

三浦委員長 記事担当を決めたい。どなたが書かれるか、積極的にご協力を。

澁谷委員 では僕が。

三浦委員長 よろしいか。では澁谷委員にお願いする。下段部分は議長にお願いする。

(2) その他

三浦委員長 その他、何かあるか。

(「なし」という声あり)

2 地域協議会との意見交換会について

(1) 班別状況報告

三浦委員長 班別状況を共有しつつ、課題などを確認していきたい。班別状況表をもとに、各班長に報告いただきたい。

まず浜田班について私から。6月7日月曜日18時半からという日程で確定した。会場は全員協議会室である。テーマは先般の地域協議会に出席して説明した際にも、地域が広いので一つのテーマに絞るのは難しいかもしれないという感想もいただいた。逆にたくさんの地域から、この4月に新しく地域協議会委員になった方もいるので、各地域から今の活動状況を伺う形で情報交換をさせていただけたらと、正副会長に提案している。正副会長から扱いたいテーマの返答があればそれに応じる。現在調整中である。

では次、金城について。

西川副委員長 金城は4月から正副会長が新しく決定した。地域協議会から議会との意見交換会について議題を上げてもらった。5月25日火曜日18時30分からみどりかいかんでの開催が決まっている。

テーマは行き違いがあったが、議会から提案があると受けとめられていたが、基本的に地域協議会から上げていただきたいとお話して、上がってきたのが先週末なのだが、市政全般について、人口減少対策についてと広いテーマなので、会長と個別に相談しながら絞る形でやろうかと思っている。前向きに受けとめていただいている。

三浦委員長
佐々木委員

るので、よい議論ができそうである。

旭についてお願いします。

旭は別途日程を取らず地域協議会の日に設定してくれという前提があり、直近では4月28日だった。ここでは市長が来て懇談するということが時間が取れなかったもので、次の回を見ている。議会が終わった直後の金曜日の昼に行うのが通例となっており、今のところは7月16日金曜日の午後2時からの予定になっている。

内容については4月28日にある程度皆から出していただくようお願いしていたが、そこではどうもあまり出なかったということで、5月いっぱいをかけて地域協議会委員全員にアンケートをお願いして、そこでまとめたものを6月になって会長と協議させていただいて内容を調整する予定である。

三浦委員長
川上委員

続いて弥栄、お願いします。

まだまちづくり委員会が一本化できてないので待つてほしい、それ以降にさせてほしいとのことで、今のところ6月以降を予定している。一本化がなされた後に打ち合わせをする。

三浦委員長
小川委員

三隅地域。

三隅支所防災自治課を窓口にしながらか調整している。今年度に入ってから地域協議会は2回開催され、最初の地域協議会にてこの意見交換会をしたいという話があったが、そこでは正副会長を決める段階までいってなかったもので、希望テーマは第2回に持ち寄ることとなっていた。日程は別途調整するが、今まで18時半の開催だったが、今後は協議会自体も19時からの設定にされるようである。第2回の協議会では正副会長の決定と併せて、34項目のテーマが各委員から出された。限られた時間でどのように進めるか、当日までに一度正副会長と正副班長とで調整しながら進めないといけないと話している。

三浦委員長

各地域の状況が共有された。その他、課題や疑問点などがあればこの場で共有しておきたい。

村武委員

時間は18時30分からや19時からと書いてあり、大体どのくらいを目安にされているか。

小寺書記

会自体が2時間となるような目安を考えている。意見交換会自体は議長団の挨拶や会長の挨拶、自己紹介もあるので、意見交換会が始まって90分くらいをめどにシナリオを用意している。

三浦委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

では小寺書記に用意してもらっている地域協議会の準備事項について、引き続きご説明いただく。

小寺書記

その前に班別状況表において浜田の実施日時が18時30分となっていたのだが、資料のミスで、正しくは13時30分である。お詫びして訂正する。

(2) 各種準備

小寺書記

準備物についてご説明する。

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

今の説明に対して質問は。

村武委員

座席表だが、恐らく地区から出ておられる。ここに地区名を書くのが難しければ、情動的なところで教えていただけるとうれしい。

小寺書記

記載は可能だと思う。どの地区からどの委員が来られているか、括弧書きででも入れたい。

三浦委員長

ほかにはどうか。

澁谷委員

テーマについて話し合ってもらえば非常に司会者は楽なのだが、しかし今までの地域井戸端会などを見ると、テーマ以外の話もいっぱい出てくる。それを、テーマと違うからとカットできるのか。バランス感覚が難しい。そうすると意見を聞く側として、意見を言ってもらい感じになりやすい。どうしたらよいか。テーマが決まっても、これを言うために来たのだという人をどうさばけばよいか。

三浦委員長

この意見交換会は事前段階で班長と各地域の正副会長の間でテーマ設定をきちんと確認し、今回の時間では基本的には決めてあるテーマについて話すことを事前に徹底していただく。

これまで副委員長と各地域協議会を回ったときも、多少の地域差はあれど、協議会委員は皆各地域代表として出ているので開催前にある程度の時間を確保して、地域の意見を集約する必要もあるとおっしゃったところもある。テーマについて地域でもヒアリングしていただきながらということ事前に徹底していただき当日は進めていただく。

ただし、少なからずテーマ以外のこともこの際ということはあるかもしれないが、基本的にはテーマのことでまずは時間を確保していただき、その他で何かあれば別途、聞ける範囲で聞いて帰ると

- という形で進めていただくのがよい。
- 澁谷委員 そういう形に本当になるなら司会進行は楽だが。少し不安。
- 三浦委員長 各班長にはその部分を事前に、各地域の正副会長に事前に、確実に趣旨を共有していただくよう改めてお願いする。
- 小川委員 確かにそのような調整も必要だが、三隅の場合、今の段階でも34項目出ている。結局それに対してテーマを絞る気はなさそうである。そうすると時間内に全ての項目が扱えない可能性が高く、果たして意見交換になるのか不安である。
- 澁谷委員 絞る気ないのか。
- 小川委員 1回で終わらないだろうという考えである。そうすると、1回目は上から五つにしようかといった調整を、今から正副会長としなければならぬ。悩ましい問題である。
- 三浦委員長 もちろん議員との意見交換でいろいろ言いたいという地域要望もあると認識しなければいけないが、あくまで限られた時間内で議論を深めていくというか。三隅にも、テーマがたくさん出れば言って終わりになってしまうので、ある程度絞って議論すべきだと当初おっしゃっていた。34項目全部扱えば言って終わりになる。前さばきは少し必要かと思う。
- 小寺書記 私も三隅支所から話は聞いている。三隅から出た意見は一応議員に見ていただきたいという部分の一つあるのと、こちらに一旦投げられている状態なのかと思うので、今日は経済についてやろうとか、それは議会側から提案してよいものと思うので、正副班長の主動でさばけるのかと。
- 三浦委員長 意見の重さの整理は難しいだろうが、この中から聞いてみたいこと、掘り下げたいことを班内で調整いただき、当日に臨んでいただきたい。なかなか1時間半で扱える量ではない。
- 小川委員 あと10日くらいしかないので、班内で少し煮詰めるしかないかと思う。整理しながら正副会長との協議を何回か持つ必要があるかもしれない。
- 佐々木委員 三隅のテーマの多さと中身を見て驚いた。これはほとんど執行部に対する要望や質問である。勉強して臨まないと、ある程度執行部からヒアリングしてでも臨まないといけないのか。
- そうすると今までの議会報告会のような、行って初めて意見を聞いて、後日に回答するようなことでは今回の会はいけないのだろう。

- 司会の大変さもさることながら、内容の進め方について、答えを準備しないといけないのか。どう進めるのか。
- 澁谷委員 三隅は地域でのまちづくり活動が本格的に進んでいるから、まちづくりがすごく高度である。34個全部を議員で対応するのは無理である。執行部でないと回答できないような項目もある。
- 三浦委員長 議員は本気で意見交換する気があるのかと、三隅地域協議会から投げかけられている感じがする。班に任せられても大変である。
- 小寺書記 難しいだろうか。
- 三浦委員長 今はとりあえず34項目全部はやらないと欲していた方がいい。この中からテーマを絞り、意見を深める。答えるよりは地域協議会の意見と議会での対応や今までやってきた部分もあるだろう。執行部に確認しなければならない点は話を聞いている中で出てくることもあるだろう。そういうのを深めていくという印象なのだが、いかがか。
- 三浦委員長 34項目の中からいくつか選んで、こちらから投げかけることは可能だと思うので、班長主動で精査いただくのは議員側でやっても問題ないと思う。
- 意見や要望が出てきたら、我々は執行部とは違うので一つ一つに対して現状を数値的にその場で示すというのではなく、あくまでも地域活動や課題感の現状を伺い、各議員が持っている知見や他地域の様子を紹介できれば、そういう情報・意見交換ということで。中には持ち帰る課題もあるだろう。そのように進行していただけたら。
- 小川委員 こちらそういう腹案を持ちながら当たっていかないと難しい。最初の4項目などは、議員と意見交換をしたいのか。総合振興計画の進捗状況や評価についてだろうが、これはどちらかといえば執行部から回答するべきで、我々がどう評価することもできないし。評価を議員としてどう思うか聞かれれば答えもするが、しかし議員が思い思いに言ってよいのかということにもなる。
- 住民自治や団体自治についても、このテーマを投げた方は答えをお持ちなのだろうが、それについて各議員の認識を聞きたいのが本音なのか、現状について誰がどう評価するのか。それは地域住民が肌で感じている部分ではないのか。住民自治がうまくいってないとか、団体自治がなってないとか。正副会長の思いと議会側の思いを少しすり合わせないと、このままでは大変なことになるだろう。限

西川副委員長

られた時間を有意義にするための材料を準備していきたい。

三隅地域協議会は、最初のときに議員との意見交換会に向けて15人の委員にテーマを考えてもらい、何日までに事務局に報告していただくようお願いしたところ出されたのがこの34項目である。協議会の中でこれをまとめる時間もないので、このまま全部出そうという話になったようである。

だから議会である程度集約してよいと思う。

小川委員

防災自治課の方などを通してだとそのニュアンスはわからない。テーマを絞る構えはないような印象を受けて、なかなか手ごわいと感じていた。それを聞いて雰囲気も多少わかった。

澁谷委員

担当課が全34項目を議会に送ってくるという見識がわからない。最初からけんか腰のようにも見える。1時間半でどうさばくのか全く見えない。逆にここまでの項目を出して何の意味があるのか。

佐々木委員

執行部とのやりとりではなく、これだけのテーマが出て進め方に困っていると、会長に直接話して調整されたほうがよいのでは。

小川委員

もちろんその方向で考えている。出されたテーマも今日、委員の皆に目を通してもらった。この会議以降に日程調整して正副会長と協議する。

澁谷委員

班長がそう言われるので、もう少し経過を見る。担当課はよくあのようなものを送ってきたものだ。

三浦委員長

あとはこの中で、議会との意見交換会という場で扱うのに、これがよい、今回はこれにしようという精査は、正副会長との協議で詰めていただくよう、引き続きお願いする。

佐々木委員

約2時間の流れが説明されたが、旭の場合は地域協議会後にやるので、地域協議会自体がどのくらいかかるかわからないが最低30分として、そこから2時間となるとどうなのか。様子見ながら、例えば自己紹介を省くなど、トータル2時間程度で終わるよう独自に調整したいのだが。

三浦委員長

その部分は各地域協議会とご相談いただき、適宜時間を調整していただきたい。ただ、前提としては地域協議会開催と同日であっても別日であっても、せつかくの機会なので十分に議論する時間は確保したいとおっしゃっていた。十分な時間というのがそれぞれ異なると思うので、旭は旭で協議いただきたい。

小寺書記

一応90分をめどにとというのは班長から正副会長にお伝えいただい

でもよいかと思う。

シナリオ部分で確認だが、議長団と会長の挨拶を入れている。先ほどの澁谷委員の話から、やはり会長が頭に話す機会があったほうがよいのかと思った。今回の会の進め方やテーマを決めた経緯などは会長からお話しいただいたほうが、委員も腹入れしやすいかもしれない。そのように調整したらどうか。

三浦委員長

私も今話を伺いながら、そのほうがスムーズかと思ったので、地域協議会会長のご挨拶を議長団挨拶の前にしていただき、閉会挨拶は議員側の司会で締めていただいてよいのでは。よろしいか。

西川副委員長

会長挨拶は冒頭がよい。地域協議会は最後の挨拶を副会長が締めるケースが多いので、それでもよい。

三浦委員長

ではそのようにしようか。よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではシナリオ案はそのように変えて、提案したい。

(3) その他

三浦委員長

その他ないか。

(「なし」という声あり)

では地域協議会との意見交換会については、まだ整理が必要な部分があるが、開催までに各班頑張って詰めていただきたい。よろしく願います。

3 はまだ市民一日議会について

(1) 役割分担等確認

三浦委員長

小寺書記から願います。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

今説明されたことについて質疑は。

川上委員

議場へは実際誰がご案内するのか。

小寺書記

それを発言者への事前説明で、委員にご案内いただくようお願いしたい。2時開会に向けて参加者には一応1時半までに来ていただくようお願いする。1時40分くらいをめぐりお二人で議場にご案内いただき、流れを説明する。その後の締め方としては、開会が2時なのでそこまでに、今説明した席に座っていただくようにしていただければよいかと思う。

- 川上委員 納得した。要するに開会したときには全員向こうにいます。あとは議長判断でやってもらおうと理解した。
- 三浦委員長 副委員長。
- 西川副委員長 取材対応は私になっているが、小川前委員長にさせていただき、私は別の係に。
- 三浦委員長 よろしいか。一人にしようか。私だけで。西川副委員長にほかの係に回っていただくか。今日、割り振りがあるところは具体的に決めておくということか。
- 小寺書記 はい。
- 三浦委員長 村武委員。
- 村武委員 必要かどうかわからないが、発言者の誘導やサポートなどがあってもよいのかと思うのだが。
- 小寺書記 ご指摘のとおりである。まず事前に、議長に呼ばれたらここを通過してここに行くなどは説明する。実際始まってからは、空気感が変わる部分もあるかと思うので、私がそばで対応したい。
- 三浦委員長 そのほかにあるか。質問がないようなら、具体的な割り振りを今日の時点でしておきたい。ご希望を伺う。
- 川上委員 控室、傍聴席誘導を。無難なところをさせてほしい。
- 三浦委員長 では川上委員からの希望で。そのほかには皆はいかがか。
- 村武委員 受付を希望する。
- 笹田委員 受付を。
- 佐々木委員 私も受付をやりたい。
- 三浦委員長 ほかに。今希望をおっしゃった方は少し配慮して、こちらで割り振らせていただく。
- 三浦委員長 小寺書記。
- 小寺書記 続いて準備物をご確認いただきたい。
- (以下、資料をもとに説明)
- 三浦委員長 今説明があったが、何かご意見があればお願いします。
- 西川副委員長 体温検知モニターは顔を近づけるものだと思うが、いつもはどこにあるのか。接触型ではかれば済む。このモニターは基本的に人通りの多いところで使うものであり、無理に使う必要はない。
- 小寺書記 健康医療対策課には、借用期間も短く貸していただけることは確認している。
- 西川副委員長 無理がなければよい。あと演台を拭く除菌シートだが、発言者に

よって拭き方にばらつきがあるので、決まった誰かがやったほうがよいのでは。

小寺書記

皆には一般質問終了後に拭いてもらっているのですが、それを発言者の方にも流れでやってもらおうとおもしろいかと思っているのだが、西川副委員長のご提案のとおり混乱ということもあるので、事務局や委員で対応するというところもあると思う。ただ、議員だと議員席におられるので事務局で、私が対応するなどではいかがか。

西川副委員長

議会と同じ流れというのは確かにそれもあるので、事前に拭く場所を説明すればそれでよいと思う。

三浦委員長

いずれにせよスムーズな進行にはどちらがよいかを検証して、事務局が対応したほうが早そうであれば、それでよいかと。

ほかには。

佐々木委員

今の申し込み件数や内容はどうか。

小寺書記

今は4名である。申し込み受付表を配信した。

三浦委員長

目標を10名としていた。あと1か月弱あるが、皆も各種団体や地域活動をされている方にぜひお声かけいただき、参加を勧めていただくようご協力をよろしくお願いする。

村武委員

今の段階で事務局に問い合わせや質問があれば紹介してほしい。

小寺書記

それは発言者からか。

村武委員

はい。

小寺書記

発言者は、申し込みいただいた時点で受理したことのお知らせメールをお送りしており、正式決定はまたお知らせするとお伝えしている。特に質問はまだ来ていない。

市民からも、たまに開催概要を聞かれたりする。あとは報道からの問い合わせがあり、山陰中央新報には募集開始直後に載ったのと、先週も毎日新聞に掲載された。

三浦委員長

ほかには。

川上委員

申し込み受付表の2-2と書いてあるのは何かわけがあるのか。

小寺書記

この方からは申し込みを2回いただいた。原則1本目をと書いてあるのだが、本人とお話する機会があり、どちらの内容がよいかお聞きすることができて後から出した内容のほうがよいという意味確認ができたため、テーマを変えた。

三浦委員長

ほかにはないか。

(「なし」という声あり)

- 繰り返しになるが引き続き、市民への周知と参加促進をぜひ願います。
- 小寺書記 引き続き、当日の大まかな流れについての説明に移る。
(以下、資料をもとに説明)
- 三浦委員長 今説明のあった大まかな流れ、スケジュールについて質問や意見があれば願います。当日の休憩についてはこれでよいかと思うが、特に意見はないか。
(「なし」という声あり)
ではこのような流れで願います。
- 小寺書記 1点ご相談なのだが、そもそもこの会をするに当たり、皆に1時半に来てもらい、最後までいてもらうが、コロナのこともあるし、例えば発言が終わった時点で帰宅をされる方がいることも考えてよいのかと。最後までいてもらうのか、帰宅を希望される場合は応じるのか、ご検討いただきたいのだが。
- 三浦委員長 基本的にはこの時間はいていただく感じでよいかと思うのだが、個人的な希望があれば、昨今の時勢を考えると、応じてもよいのかと思うのだが。よろしいか。
(「異議なし」という声あり)
ではそのように対応するという事で。
- 小寺書記 では、基本的には頭から最後までいていただくが、個別に希望があればお受けする。特にこちらから投げかけるわけではなく、対応するという事で承知した。
- 三浦委員長 よろしく願います。まだ確定してない日程が幾つかあるが、それは順次確定しながらご案内する。引き続きよろしく願います。
- 西川副委員長 コロナ対策で少し気になるのだが、発言者の方が当日の2週間以内に県外へ行ったなどの情報はどうしたらよいか。
- 小寺書記 ご指摘ごもっともである。例えばだが、申し込み結果等をお送りして発言される方については、2週間前の行動歴をメモしてもらう、なるべく感染拡大地域へは行かないように補足しておくことも必要かと思っただがいかがか。
- 三浦委員長 議員の行動歴についてはそこまでやってないのに、参加者だけにそれを要求するのは、基本的な対策としては少し徹底できてないかと思う。体温や健康状態のチェックはもちろんやっているが、複数の方が集まるということでそこまで徹底するのであれば、我々も同

瀬谷委員	様な対応が必要かと思うが。今は基本的に島根県が出している行動指針にのっとなるように議会でも共有されているし、もちろん議員はそれを前提に行動しているだろうが、市民にもルールに沿って当日を迎えてほしいということはアナウンスすればよいと思うが。
三浦委員長	委員長が言うように議員も全員調べればよい。公平に。
小寺書記	事務局から各参加者についてはそのように、浜田市の行動指針にのっとして対策をお願いします。議員各位にも改めてお願いします。そういうアナウンスをすべきなのかと思う。
三浦委員長	承知した。申し込み結果通知の際に、行動指針のアナウンスもする、議員にも再度するという事でよろしいか。
	よろしくをお願いします。

(2) その他

はまだ市民一日議会については以上であるが、その他あるか。
(「なし」という声あり)
では次に移る。

4 その他

(1) 読者アンケート振り分け先案について

三浦委員長	小寺書記から説明をお願いします。
小寺書記	(以下、資料をもとに説明)
三浦委員長	これは事前にメール配信させていただいている。我々正副でも確認し事務局にもチェックしているものを皆に配信している。それに基づいて、適切な振り分け先についてご意見があれば。
瀬谷委員	基本的に議長預かりはよくない。必ずどこかの委員会に振り分けないといけないと思う。意見だけならよいが。
三浦委員長	この時間の中で一つ一つ確認して委員会に振り分けるという作業をしてもよいかと思うがどうか。 (「よい」という声あり) では順を追ってやる。 (以下、振り分け作業) 以上のように修正する。

(2) 議会報告会について

三浦委員長

これは私から説明する。これまで議会報告会・地域井戸端会がワークショップ形式の開催が難しいということで、それにかわる対策案としてはまだ市民一日議会の開催や地域協議会との意見交換会に取り組んでいるところである。それを議論する中でオンラインでの議会報告会等の実施も検討してはどうかという意見が出されて、検討を進めているところだが、はまだ市民一日議会の開催や地域協議会との意見交換会の調整もボリュームのあることが出てきたので、いろいろ試してみるのには確かに重要ではあるが、やり過ぎて各事業に対する取り組みが中途半端になってもよろしくない。どのように対応していくか皆に伺いながら、今後の検討をどのように進めるか決めたい。

オンラインによる意見交換会は非常に有効だと思うし、やってみようと思うのだが、状況を踏まえて皆がどう思われるか伺いたい。

川上委員

はまだ市民一日議会が終わってから改選までは3か月しかない。ウェブ会議は次期へ付託するというだけでもよいのでは。

小川委員

時間的に煮詰めるところまでは難しい。従来の議会報告会も幾らか行き詰まっている部分もあるし、ウェブ会議形式に切りかえることで今まで参加がなかった世代が参加される可能性は大きい気がする。そういう意味では、やり方も含めていろいろなものを参考にしながら、次期体制の中で進めていくべきでは。

村武委員

時期的にウェブ会議を実施するのは難しいところがあるとは思いますが、もし可能ならこの中で議論してもよいとは思う。

三浦委員長

それは手法や対象者など、やり方についてか。

村武委員

はい、もし時間があれば。

佐々木委員

一緒に、実施は多分難しいと思うが、形づくりくらいはもしかしたらできるかもしれないので、その議論はする必要がある。

三浦委員長

ほかには意見がないか。

(「なし」という声あり)

では、できる限り実現に向けて、どういうやり方でできるかの検証や研究は引き続き当委員会で行っていきながら、開催についてはしかるべきタイミングで、慌てずじっくり研究して、申し送るところは引き継ぐという方針で今後も検証していきたい。それでよいか。

澁谷委員

議会報告会・地域井戸端会について、委員の中に間違った意見がある。そもそもコロナがなければやっていたことが中止になるなど、

そういう大前提の中ではまだ市民一日議会や地域協議会との意見交換会なので、その辺の経緯を全く無視して、議会基本条例などもっともらしい意見が出てくるのが、僕はナンセンスだと思っている。できる範囲内で、コロナ対策をしながらやっていくということで、委員長の言われるとおりでよい。

三浦委員長

これまではまだ市民一日議会や地域協議会との意見交換会について全議員に共有する際に、これまでの経緯をしっかりと説明できてなかった部分もあり、そこは反省するところだが、この前改めて地域協議会との意見交換会のアナウンスを全員協議会でさせていただいたときも、改めてあのように説明するとか、そういう部分は今後も折を見て徹底したい。各委員におかれては、会派や同僚議員に説明する機会をしっかりと持っていただくと、より全議員の間の認識が統一されるかと思うので、引き続き各委員に協力を求めたい。よろしく願います。

では、本日用意した議題は全て終了したが、皆から何かあるか。

村武委員

読者アンケートの中に議会広報広聴委員会に向けての、コロナ禍でマスクをした写真はどうかという意見があるが、これはもしかしたら次の議会に向けて対応ができるかもしれないので、早目に議論したほうがよい気がするのだが。

三浦委員長

今はパネルを設置したことによって基本的に一般質問の際はマスクを取ってやっていただくことになっている。多分、外し忘れている方が数人いたということだと思う。前は皆外したのでは。その確認を定例会議前に全議員に向けて改めてさせていただくという対処方法でよいと思っている。

小寺書記

三浦委員長のおっしゃるとおり、V o 1 . 60で使った写真は皆マスクを取っている写真を使った。一般質問ではパネルを使用するのでマスクは外していただくよう、またどこかでアナウンスできる。

三浦委員長

そのようにさせていただく。ほかに。

芦谷委員

例えば国会などは全員マスクしている。あれを見てケーブルテレビを見ると違和感がある。新型コロナウイルスがどうなるかわからないが、できればパーテーションがあったとしてもマスクをする趨勢になればと私は思っている。もしそうだとすれば、別に写真だけを撮影する時間を取るほうが。パーテーションがあるためにマスクは取るというのは、ほかはやってないので、浜田だけではなかなか

- 難しいと思う。
- 澁谷委員 国会はそうだが県知事はパーテーションのみでマスクは外される方もいっぱいいる。ケーブルテレビの下のほうにでも、浜田市議会は感染対策をしているのでマスクを取って質問しているなど、何か入れるようにしないと。皆の価値観が違う。何か1本線引きすればよい。
- 小寺書記 はまだ議会だよりにおいては会派代表質問や個人一般質問で、アクリル板を設置して感染予防に努めているという記載は一文入れて発行している。ご承知おきいただければ。
- 三浦委員長 本件については、当委員会でマスクの着用をどうするかは決められないと思うので、こうした意見が出ているということで改めて議会としてのルールをどう示すかは、議長団なのか議会運営委員会なのか。
- 澁谷委員 議長団に言ったら、議長団は議会運営委員会という。
- 三浦委員長 はい。なので、その報告はどのような形でさせていただいたらよいか。正式に議会広報広聴委員会として手続きが必要なのか。この場に副議長がおられるが、改めてそういうところで協議していただくということで。
- 佐々木委員 議会全般にかかわることは議長を差しおいてというわけにはなかなかいかない。一応議長を通して、多分議会運営委員会になるだろうが、議会運営委員会で判断を仰ぐのが一番の筋かと思う。
- 三浦委員長 議長に誰が言うべきか。
- 三浦委員長 適切なルールがあればそれにのっとって。
- 小寺書記 私が思ったところでは、議会広報広聴委員会の中でそういう話があったということで、当委員会の正副委員長から議長団に話をするのがよいかと思ったのだが。
- 三浦委員長 ではそのように、議長団に報告させていただく。そのほか。
- 小寺書記 項目を設けておらず申しわけないが、はまだ議会だよりV o 1 . 6 1について、印刷業者が変わったことで紙質が変わってしまった。これは仕様書に基づいてタカハシ包装センターにやってもらっていて、条件は満たしているものではあるのだが、前の業者は基準より上の質のものを使っていた。タカハシ包装センターは基準どおりのものでやってもらった。
- 皆ごらんになって紙質が変わったと思われただろうが、今のまま

でよいとするか、もう少し厚い前の紙がよいかどうか確認したい。

紙質の基準をタカハシ包装センターにお示しして、それに基づいて入札いただいているので、紙質を上げるとなると印刷代も上がる。それが上がったとしても、もともとの予算内で対応ができる部分ではあるので、皆のご意見で上げたほうがよいということであれば、そのように手続きを進める。ご意見をいただきたい。

三浦委員長

仕様にのっとして刷ってもらったのだが、前年度までの事業者はそれより少し厚いもので刷ってくださっていた。今年度予算内で紙を厚くすることも可能だという説明でよいのか。

小川委員

市民からは紙質が悪くなった、めくるときも今までの質感と全く違うということで評判が悪い。それと広報はまだとの紙質の違いが明らかになり、議会はえらく安く扱われているという印象も受ける感じがする。ぜひ質を戻してほしい。

佐々木委員

これで入札が安くなったとなると、それ自体が問題なのではと感じるのだが。業者にとっては問題では。

三浦委員長

予算の中でというのは。タカハシ包装センターが契約額の中で紙質を上げることも可能だとおっしゃったのか。

芦谷委員

紙質は仕様があるのか。

澁谷委員

裏でどういう話になっているのか。

三浦委員長

一度条件を整理したほうがよいので、一旦休憩とする。

[11時 45分 休憩]

[11時 51分 再開]

三浦委員長

委員会を再開する。紙質についてだが、予算の中で対応可能とのことなので、これまでと同じ紙の厚さに戻していただくようタカハシ包装センターにお願いするということによろしいか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにしたい。ほかに。

小寺書記

皆からなければ次の委員会の日程についてだが、6月11日金曜日の午後1時か1時半からで。はまだ市民一日議会のことをするのと、6月定例会議に関係するはまだ議会だよりV o 1 . 62について原稿のページ割り当てや原稿担当者を決める委員会。午前中には議会運営委員会がある。

三浦委員長

6月11日の午後でよろしいか。

13時30分からでどうか。

(「異議なし」という声あり)

では次回は6月11日金曜日13時30分から開催したい。よろしく
願います。

西川副委員長

今月の月末ははまだ議会だよりのアンケートの回収があるので、
それぞれよろしく願います。

三浦委員長

アナウンス感謝する。引き続きご協力をよろしく願います。

では、以上で本日の議会広報広聴委員会を終わりたい。

[11時 53分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀